

令和7年度 教育学部一般選抜（前期日程）

国 語

【出題の意図】

□（配点30点）

意見の対立を整理・分析した上で、それを踏まえて、問題解決ための方法を、明瞭に、また論理的に表現できるかを問う。

【解答例】

□（配点80点）

問一 12点（各2点）

（a）過言 （b）依存 （c）特異 （d）発露 （e）減退 （f）規範

問二 8点（各2点）

（ア）たけて （イ）かもし （ウ）ひんぱん （エ）うるおい

問三 5点 形容動詞

問四 5点 事実 考え

問五 8点 子供の「父親から小遣いをもらった」という事実と、「もらった一〇〇〇円で絵本を想买い」という考えが言葉の内容であり、自分がどんなに嬉しいかということが感情だということ。

問六 8点 すべてを言葉で言わなくても、人としての情報が十分伝えられるようなことを重視するような感性。

問七 8点 情とは感情のことであり、人の存在は情によって支えられ、その行為や言葉はその情を表現する担体、手段にすぎないから。

問八 8点 人としてなくてはならないものは生まれつき人との関わりを求めようとする関係欲求であり、関係欲求が充足されないことで、脳活性が上がらず、外部情報に対し価値を認められず、意欲も上がらなくなるということ。

問九 8点 愛とは人との関わりを求め、人の存在をそのまま受け入れる関係欲求のための価値の尺度であり、自分自身が愛を受けた経験をもって学習し、脳内にそうした回路を形成していくことが価値表現だということ。

問一〇 10点 情報の中で人にとって最も重要な事柄は情である。人は生理欲求とともに人との関わりを求めようとする関係欲求があり、愛は「こうした関係欲求における価値表現」である。愛を受けた経験から学習し、脳内に回路を形成していくことから、愛は脳を活性化する。(一一九字)

三 (配点50点)

問一 4点 十月

問二 12点 (各4点) (ア)朝廷・天皇 (イ)中途半端だ (ウ)やかましく騒ぐ

問三 (1) 6点 助動詞、完了、連体形

(2) 4点 院が生きていた世

問四 (1) 6点 (各3点) (A)院 (B)帝・内裏

(2) 7点 帝が気品高く美しく、年とともに立派に成長し、遺言を固く守ると約束してくれているから。

問五 3点 春宮

問六 8点 まだ満足しないうちに春宮たちがお帰りになるのを、院はたいそうつらくお思いになる。

四 (配点40点)

問一 8点 (各4点) (a) 二つの事柄についての比較を表す (b) 行為が行われる場所や時間を表す

問二 5点 夢二人乗船～之遂不復見

問三 5点 徐隗の病気は悪化してきっと死ぬだろうということが書かれていた。

問四 6点 幼くして両親と死に別れた自分を実の子以上によく養い、育ててくれた叔父に感謝し、助けてほしかったため。

問五 5点 (書き下し文) なんじのけんせいめいをおなじくするひとありやいなやと

5点 (現代語訳) おまえの県に徐隗と同姓同名の人がいるか

問六 6点 叔父の徐隗が病気になった時に懸命に看病した徐泰が、夢の中でも叔父を生かしてほしいと必死で願う姿から、叔父のことを思いやる強い思いが伝わったから。